

夢、私たちに。 わたしのひとこと



生存競争に思う

沢渡 相沢 五郎

競争社会の現在、生き残りを懸けた熾烈な戦いが、生まれ落ちた瞬間から死ぬ迄続いています。殊に、受験戦争、交通戦争、ゴミ戦争は極めて深刻で国民的課題です。競争社会のヒズミは、時として想いも寄らぬ犯罪が発生し、何の罪もない人々が犠牲になって、本当に恐ろしい世の中です。競争のない社会に進歩発展はないと言われますが、その進歩発展が即、人の幸福に結び付くのでしょうか。競争社会の仕組みを替えなければ、真の意味での平和共存は実現しないかも知れません。そんな時、『勝つことばかり知りて、負くることを知らざれば、害その身に至る』との、古人の遺訓は、千斤の重みを感じさせられます。



白馬に暮らして思うこと

大出 小林 幸子

私は仕事で東京と白馬を行来し、主人は村でバックを創り、都市の百貨店で販売する生活が10年です。都市は、街も人も余裕がなく、その反動か今は不便な山里が観光地となり、都会人の要求に合わせていた所が、廃墟になっています。村の観光客減少も、同じ土俵ではと感じます。でも私は、村に戻るとホッとします。ドンと構える山々、畦道の雑草、苦勞して築いた石積の田畑、過酷な自然の中で住み継がれた民家や生活の知恵、人々の温かさ、どれも都会人が求める生き方です。百貨店に、村の観光案内を持ち込むと“山が素晴らしい。又行きたい。一度行ってみたい。”同じ思いの人が沢山いることや憧れを肌で感じます。私は、都市に迎合せず、便利を取捨選択し、白馬の生活や自然を自信をもって発信しようと思います。暮らす人々が元気で、快適な自然景観が戻れば、“白馬ファン”は、もっと増えると思います。



自然に逆らわない身体動作

落倉 住谷 順一

私は白馬の雄大な景色と日本有数のスキーコースに魅せられ、移り住み約30年となります。しかし、ここ数年大好きなスキーでロングコースを滑るのに多少の疲れを感じるようになっていました。そんな折、身体の中に元来存在する能力に気付く事を教わる機会を得て、その動作の美しさに驚き感動しました。その後、日々の生活の中で自分なりに応用してみると、意外に仕事が早く進んでいることに気付きました。つまり自然にさからわない動きで、こんなにも疲れ方が違うのですから、今迄力まかせに仕事をしてきた事を大いに反省させられました。これから老いていくなかで、自然にさからわず生活できれば、まだまだ私の体は進化するのではと秘かに期待しているところです。白馬の環境もそれらを敬い、見つめ、うまく手を加えながら将来に手渡したいものです。

編集後記

とにかく地球がおかしい。ミャンマーのサイクロンといい、中国四川省の大震災といい、異常性を感じます。地震はともかく、地球規模での温暖化が、異常気象の原因であると言われてきているのが気掛りです。気掛りと言え、温暖化防止のための京都議定書に、アメリカが批准(合意)していないのも気になります。

白馬村でも、ごみ処理施設建設候補地の問題が住民合意に達しておりません。どうすれば住民合意に達するのか、意見を聞いたり議論をしているところです。宮尾幸典記

議会報調査編集 特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 西澤 功 |
| 委員長 | 柏原 孝至 |
| 副委員長 | 渡辺 俊夫 |
| 委員 | 池田 和良 |
| | 小林 英雄 |
| | 太谷 正治 |
| | 宮尾 幸典 |
| | 高橋 賢一 |

白馬議会だより 第85号
平成20年7月25日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 旬北辰印刷

〒3399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.wilhakuba.nagano.jp/gikai/ E-mail gikai@wilhakuba.nagano.jp